



1



6

富士市夏の一大イベント「富士まつり」。ことしは昨年までの内容を一新し、7月24日には「富士川花火大会」、25日には「富士かぐや姫まつり」の二本立てで開催された。

笑顔彩る富士のまつり

富士かぐや姫まつりは中央公園前青葉通りをパレード広場と銘打って、市民総おどりや音楽隊の演奏、太鼓・みこし・かんとうなどを実施。市民総おどりは、日ごろの成果を發揮しようと38団体が思い思いの衣装を着て華やかに舞い踊った。ふじ紅ばら連の遠藤清子さんは、「チームを結成してから9

百花繚乱

ひやかかりようらん

1 5団体が参加した「かぐやの里の太鼓競演」。激しいばちさばきを披露した
2 38団体2,500人が参加した「市民総おどり」
3 中央公園内ステージ、パレード広場など祭り会場各所で演舞した「あっぱれ富士」



3



2



4



5

4 パレード広場では、9組のみこしが力強く練り歩いた
5 総勢50人による「まとい・木遣道中・はしご乗り」が祭りをさらに盛り上げた
6 12組が音楽を奏でた「かぐやの里の音楽隊」
7 「市民総おどり」はみんなが主役
8 日が落ちてから始まった「かぐや姫絵巻」
9 かぐや姫クイーンに決まった堀内理世さん

9



8



7



年続けて参加しています。たくさんの人の中で踊るとやる気が出ますよね。最高に楽しいですよ」と生き生きと話してくれました。

一方、中央公園メインステージではかぐや姫コンテストが実施され、予選を通過した12人が決勝審査に臨んだ。見事クイーンに輝いたのは、堀内理世さん。緊張した面持ちのコンテストから一変、祭りのクライマックスを迎えるかぐや姫絵巻では、十二単衣ひとえを身にまといあでやかに登場。その幻想的な雰囲気観客は魅了された。

この日会場は、参加者だけでなく来場者全員の笑顔であふれていた。それはまさしく百花繚乱。富士のまちは笑顔の花で鮮やかに彩られていた。